

# 大和村防災マップ

## 名音地区

我家の避難場所



### 土砂災害危険箇所・危険区域図



◎いざという時のために、覚えておきましょう。



1時間に20ミリ以上、または土砂流は速度が速いため、日頃から家族全員で避難降り始めてから100ミリの降土砂の流れる方向に対して場所や避難する道順を決め雨量になったら注意が必要 直角に逃げるようにしましょう。 ておきましょう。

### ◎デマにまどわされない!!

災害時は、デマなどに惑わされやすくなります。報道機関や区市町村、消防・警察などから情報に注意しましょう。



### ◎山崩れ・崖くずれ・津波にも注意!!

山崩れ・崖くずれ・津波が発生しそうな地域では、すばやく避難しましょう。



### 避難時の心得

- ラジオ、テレビで最新の気象情報、洪水情報を入力しましょう。
- お年寄りや子供は、早めに避難が必要です。
- 避難する時の荷物は必要最小限(非常食、飲料水、懐中電灯、携帯ラジオなど)にし、2人以上の避難を心掛けましょう。
- 徒歩での避難を心掛けましょう。車を使つての避難には、危険を伴うことがあります。
- 避難する時は、まず水の浸からない道路へ速やかに移動しましょう。
- 洪水による水の流れが、場所によっては相当速いことが予想されます。避難時には、水の流れの速さにも十分注意しましょう。
- 村役場などからの避難の呼びかけがなくても、各人が洪水や崖崩れなどの危険を感じた場合には、自主的に避難しましょう。



### 津波のしくみ

#### 津波の発生

①地震により海底・海面が隆起・沈降  
②海面変動が大きな波となり四方八方へ伝播→沿岸へ到達

地震が発生したら、テレビやラジオ等とおして津波情報を入力することが大切です。津波情報には、常に注意しましょう。

#### 津波の速さ

津波は、海が深いほど早く伝わる性質があり、沖合ではジェット機に匹敵する速さで伝わります。  
近に、水深が浅くなるほど速度がおそくなるため、津波が陸地に近づくと、陸から来る波の前の波に追いつき、波高が高くなります。

#### 津波の遡上高

「津波の高さ」とは津波がない場合の水位(平常水位)から、津波によって海面が上昇した際の高さの差を言います。さらに、海岸から内陸へ遡波が、かけ上がる高さ(標高)を「遡上高」と呼んでおり、高い場合には3~4倍程度までなることが知られています。

### 津波の心得

#### 津波情報に注意する

津波警報

地図が発生したら、テレビやラジオ等とおして津波情報を入力することが大切です。津波の到達時間が遡波時に重なった場合は、発生個より高くなる場合もあります。

#### 安全な場所に避難する

津波情報の発令や強い揺れを感じた場合は、速やかに高台に避難しましょう。また、津波は第1波より第2波、第3波の方が高くなることもあり、警報、注意解除までは気をゆるめないようにしましょう。

### 土石流危険渓流

- 渓流の勾配が急である。
- 渓流に大きな石がごろごろしている。
- たくさんの土砂が堆積している。
- 上流が山崩れなどで荒れている。
- 過去に土石流があった。



### 地すべり危険箇所

- 過去に地すべりがあったところ、今も少しずつ動いている。
- わき水や地下水が豊富である。
- 断層があるところやもろく崩れやすい岩石がある。
- 火山作用あるいは温泉の作用で粘土化した土がある。



### 急傾斜地崩壊危険箇所

- 山の傾斜に亀裂やわき水がある。
- 岩石がもろく崩れやすい地質である。
- 過去に山崩れがあった。
- 山崩れがあった場所に隣り合っている。
- 急斜面で、軟弱な地盤がある。
- 水の集まりやすい斜面地形である。
- ときどき落石がある。



凡 例	
名称	記号
避難場所	
土砂災害警戒区域等	
土石流特別警戒区域	
土石流警戒区域	
急傾斜地の崩壊特別警戒区域	
急傾斜地の崩壊警戒区域	
標高色	
10~20m	
0~10m	

名音生活館

名音小学校